

ローカルSDGsのデザイン

～ 地域循環共生圏の作り方 ～



いま知るべきSDGs。ローカル×ビジネス×ソーシャル

環境省では、平成30年4月に閣議決定された第五次環境基本計画において、複雑化する環境・経済・社会の課題を踏まえ、複数の課題の統合的な解決というSDGsの考え方も活用した「地域循環共生圏」を提唱しました。本シンポジウムでは、各地域や企業で取り組まれている「地域循環共生圏」の先進的な事例をご紹介するとともに、地域循環共生圏のデザインのあり方や具現化の方法についての議論を行います。

「地域循環共生圏」とは、各地域が美しい自然景観等の地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方で、地域でのSDGsの実践(ローカルSDGs)を目指すものです。

第1回

3/10

参加無料

地域主体で実践する
地域循環共生圏の
作り方

東京証券会館 12:00～15:30

第2回

3/16

参加無料

企業主体で実践する
地域循環共生圏の
作り方

TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター
15:00～18:00



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

■第1回主催：環境省

■第2回主催：環境省 / 共催：事業構想大学院大学、(一社) the Organic、城南信用金庫

ローカルSDGsのデザイン-1

第1回

2020
3.10

地域主体で実践する
地域循環共生圏のつくり方

基盤事業：地域循環共生圏づくり
プラットフォーム構築事業

日時：令和2年3月10日(火) 12:00～15:30(11:30受付開始)
場所：東京証券会館 8Fホール (東京都中央区日本橋茅場町1-5-8)
(東京メトロ 東西線・日比谷線 茅場町駅8番出口直結)

主催：環境省
参加費：無料
定員：300名

3/10シンポジウム
お申し込み・お問い合わせ先

【申し込み方法】

・専用フォームにより、下記4点をご記入ください。

申込専用フォーム：<https://pro.form-mailer.jp/fms/6f7fd47d187155>

ア)お名前(フリガナ)

イ)電話番号

ウ)電子メールアドレス

エ)ご所属

・スマホをご利用の方は右記QRコードから専用フォームへアクセスするのが便利です。

【申込期日】令和2年2月28日(金) ※定員に達し次第、締め切らせていただきます

シンポジウム事務局

パシフィックコンサルタンツ(株) 環境・エネルギー部 小笠原・小谷・木下

MAIL: chiikijunkan0310@tk.pacific.co.jp

TEL:03-6777-4591



プログラム

●開会挨拶：中井徳太郎

(環境省大臣官房総合環境政策統括官)

●基調講演：武内和彦

(公益財団法人 地球環境戦略研究機関 理事長／東京大学 未来ビジョン研究センター 特任教授／中央環境審議会 会長)

「地域循環共生圏への期待」

●地域の取組み紹介

地域循環共生圏づくりプラットフォーム構築事業において、事業計画策定のための支援チームを形成・派遣した以下4団体より、取組み内容を紹介いたします。

i) 特定非営利活動法人 仕事人倶楽部 (北若手9市町村)

ii) 神奈川県小田原市

iii) 岡山県真庭市

iv) AMAホールディングス株式会社 (島根県隠岐郡海士町)

●地域循環共生圏づくりプラットフォームの構築について

川又孝太郎 (環境省大臣官房環境計画課長)

●パネルディスカッション

テーマ：「ローカルSDGsのデザイン
～地域循環共生圏のつくり方～」

コーディネーター

涌井史郎 (東京都市大学環境学部 特別教授)

パネリスト

阿部裕志 (AMAホールディングス株式会社 取締役)

川本恭治 (城南信用金庫 理事長)

鬼沢良子 (特定非営利活動法人 持続可能な社会をつくる元気ネット 事務局長)

谷中修吾 (一般社団法人 INSPIRE 代表理事)

●閉会：中島恵理 (環境省大臣官房環境計画課環境経済政策調査室長)

※16:30までの間、活動団体(35地域)のパネル展示を予定しています



ローカルSDGsのデザイン-2

第2回

2020
3.16

企業主体で実践する
地域循環共生圏のつくり方

基盤事業：環境ビジネスの振興方策
検討事業

日時：令和2年3月16日(月) 15:00～18:00(14:30受付開始)
場所：TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター
(東京都中央区八重洲1-2-16 TGビル別館)

主催：環境省

共催：事業構想大学院大学、

(一社)the Organic、城南信用金庫

参加費：無料

定員：100名

3/16シンポジウム
お申し込み・お問い合わせ先

【申し込み方法】

・電子メールにより、件名に「環境省主催シンポジウム(3月16日)参加希望」と明記し、本文に下記4点を記載いただき、事務局まで送付願います。

ア)お名前(フリガナ)

イ)電話番号

ウ)電子メールアドレス

エ)ご所属

【申込期日】令和2年3月10日(火)必着

※定員に達し次第、締め切らせていただきます

シンポジウム事務局

環境省 大臣官房環境計画課

環境経済政策調査室 森島・真田

MAIL: YUJI_SANADA@env.go.jp

TEL:03-5521-9265



プログラム

●開会挨拶：中井徳太郎 (環境省大臣官房総合環境政策統括官)

●地域循環共生圏ビジネスの先進事例とその成功要因について

中島恵理 (環境省大臣官房環境計画課環境経済政策調査室長)

●未来を創る食農ビジネス

久保牧衣子 (農林水産省大臣官房環境政策室長)

●話題提供

i) MONET Technologies株式会社

「MONET Technologiesにおける地域と連携した取り組み」

ii) 株式会社 グラノ24K 「ぶどうの樹のこれまでとこれから」

iii) 小松マテーレ株式会社 「持続可能な社会づくり挑む。小松マテーレの事例」

iv) 横浜市、株式会社太陽住建

「横浜市と秋田県湯沢市におけるリビングラボ連携について」

●パネルディスカッション

テーマ：「持続可能な地域循環共生圏ビジネスの創造に
向けて、企業として果たせる役割、企業に期待すること」

コーディネーター

中島恵理 (環境省大臣官房環境計画課環境経済政策調査室長)

パネリスト

小原壮太郎 (一般社団法人 the Organic 代表理事)

川本恭治 (城南信用金庫 理事長)

白田範史 (事業構想大学院大学 事業構想研究所SDGs総研 主任研究員)

八木裕之 (横浜国立大学 国際社会科学研究院 教授)

●閉会：川又孝太郎 (環境省大臣官房環境計画課長)

※閉会后20分程度、登壇企業および参加者同士による情報交換の場を予定。